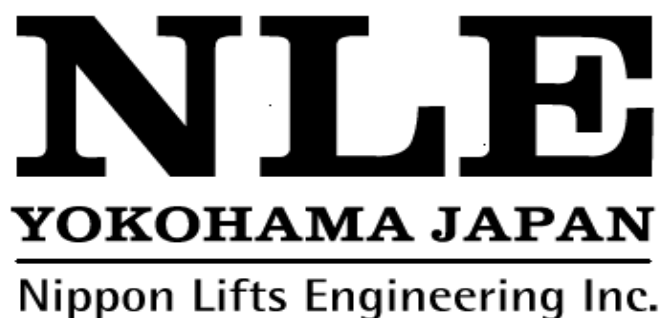


NLE Yokohama		Taro6 (DT6B- x - x x x) 取り扱い説明書-概要編	Technical Cataloge	
Feb. 3, 2011			T 001 373 J	
CS SK	Ver. 01		Page	1 / 18



非常時直接通話装置

Taro6 (DT6B- × - × × ×)

技術基準適合認定番号

A08-0133004

適用型番

DT6B-P-***	Taro6 PHSタイプ
DT6B-M-***	Taro6 Modemタイプ

注) 型番の***は、オプションを表す英字になります。

例:DT6B-P-ABN PHS;外部アンテナ;バッテリー付き

例:DT6B-M-NBN モデム;内部アンテナ;バッテリー付き

改版履歴(1/1)

Version	日付	作者	項目
p0	2011/01/20	SK	Sakura6 Plus Ver1 pre release
00	2011/02/03	SK	Taro6 Plus 現場向けマニュアル編集
01	2011/02/24	SK	Taro6 名称変更

目 次

1. 概要	4
1.1 非常時直接通話	4
1.2 遠隔パラメータ操作機能	4
1.3 PC設定機能とパラメータ管理機能	4
1.4 本装置の特徴	4
2. 構成図	5
2.1 構成1 (単局)	5
2.2 構成2 (多局)	6
3. 機能	7
3.1 ハード機能	7
3.2 非常通報機能	8
3.2.1 動作概要	9
3.2.2 発信制御	9
3.2.3 インターホン子機スピーカー制御	10
3.2.4 インターホン子機の選択	10
3.3 着信制御	11
3.4 DTMFコマンド	12
3.4.1 設定コマンド	12
3.4.2 操作コマンド	12
3.5 機能表	13
4. 製品形態	14
5. 技術情報	15
5.1 装置仕様	15
6. 特記事項	17
7. 関連資料	17

はじめに

- ・ご利用いただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保存して下さい。
- ・この製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
- ・また本装置の保証サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではご利用できませんのでご了承下さい。

注意事項

- ・本機器を不法改造すると法令により処罰されることがあります。
- ・本機の技術基準適合証明ラベルや製造番号をはがさないで下さい、効力を失ったりして使用できなくなる場合があります。

免責

- ・本書の内容に関しては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点があれば、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせ下さい。
- ・また上記に関わらず、以下の事柄については弊社はいっさい責任を負いません。
 - 本製品に付随する、または運用の結果もたらされたいかなる損害。
 - 本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的な効果および利益の損失。
 - 本製品のために費やした時間、経費。
 - 弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合など。
 - 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損。
 - 本製品をご使用になって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常。
- ・弊社は、製品および本書を改訂し、随時その外観・内容のすべてを変更する権利を有します。またその際に、改訂または変更をいかなる個人または団体に対して通知する義務を負いません。

版權

- ・本書は弊社が著作権を有します。
- ・本書の一部または全部について、弊社の書面による承諾を得ない以下のことを禁じます。
 - 形式または手段を問わず複製・複写・転載すること。
 - 派生物(翻訳・変形・改作・流用)を作成すること。

1. 概要

はじめに

NLE非常通話装置「Taro6」は、エレベーター専用通話装置です。万が一かご内に閉じ込められた際に非常時直接通話機能にてかご内非常ボタン信号を検出し発報動作を行いコールセンターとの通話が可能です。また、コールセンターもしくは携帯電話から装置へ呼出しを行い遠隔操作を行う事で各種パラメータの設定を行う事が出来ます。

1.1 非常時直接通話

各エレベーターの運行状態においてエレベーターかご内に設置されている非常ボタンを24時間365日、常時監視し、異常発生の際には自動的に電話回線を介してエレベーター保守会社のコールセンターへ直接発報呼び出し通報を行います。

また、呼び出しを行って、万一コールセンターオペレーターの応答が無い場合でも、予め登録されている第2から第5発報先へ順次、自動呼び出しを行います。

1.2 遠隔パラメータ操作機能

コールセンターもしくは携帯電話からの遠隔操作により各種パラメータ値を設定する事が出来ます。

1.3 PC (パソコン) 設定機能とパラメータ管理機能

オプション設定ツールソフトを使用することで、詳細なパラメータを設定する事が出来ます。また、装置に登録したパラメータ値をPCにセーブする事で全ての値をPCで管理したり、他の現場にその値を流用する事が出来ます。本装置を交換する際には簡単に設定登録が可能です。

(オプションの設定ツールは旧Taro6 (DT6-X-XXX) のパラメータを他の装置に流用する事はできません)

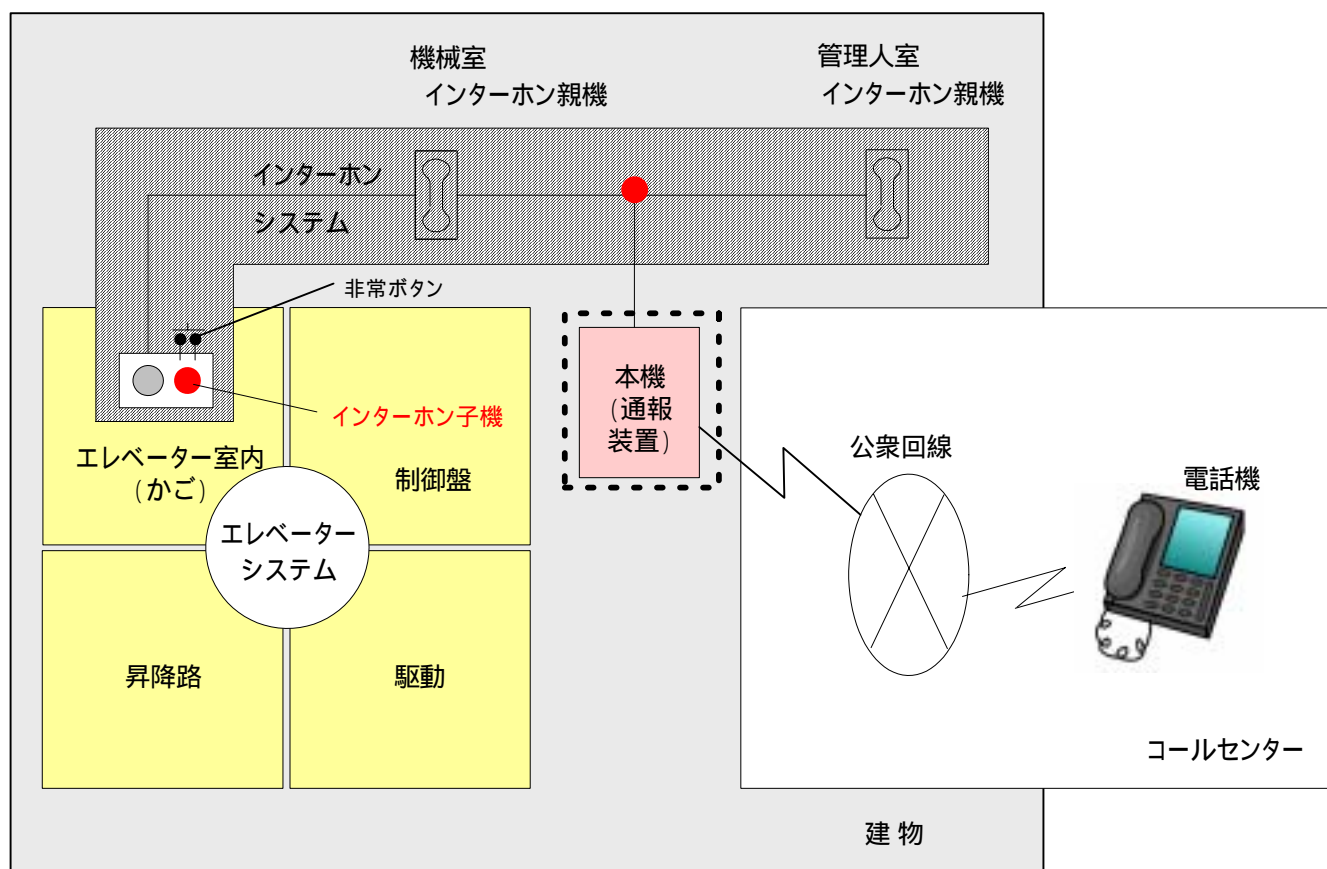
1.4 本装置の特徴

- ・非常時自動通話装置。
- ・PHSモジュール内蔵。(PHSタイプ:DT6B-P-***)
- ・日本インターフォン社製 標準インターホンに1台で対応(オール イン ワン)。
6V単局、6V多局(4局)、24V単局、24V多局(4局)。
- ・DTMF信号による通信用パラメータの遠隔設定が可能。
- ・かご内向けアナウンスの遠隔録音、確認再生が可能。
- ・現場名の遠隔録音、確認再生が可能。
- ・各種情報を音声でアナウンス。
(Taroid、かご号機番号、パラメータ設定値 etc)
- ・端末装置からの発報に対して無言電話の場合でもID通知アナウンスを行います
- ・通話時間延長機能。(遠隔操作時4分延長)

2. 構成図

2.1 構成1 (1台のエレベーターに対してTaro6 1台)

下記に1台のエレベーターにインターホン単局が取り付けされている現場へのイメージ図を示します。



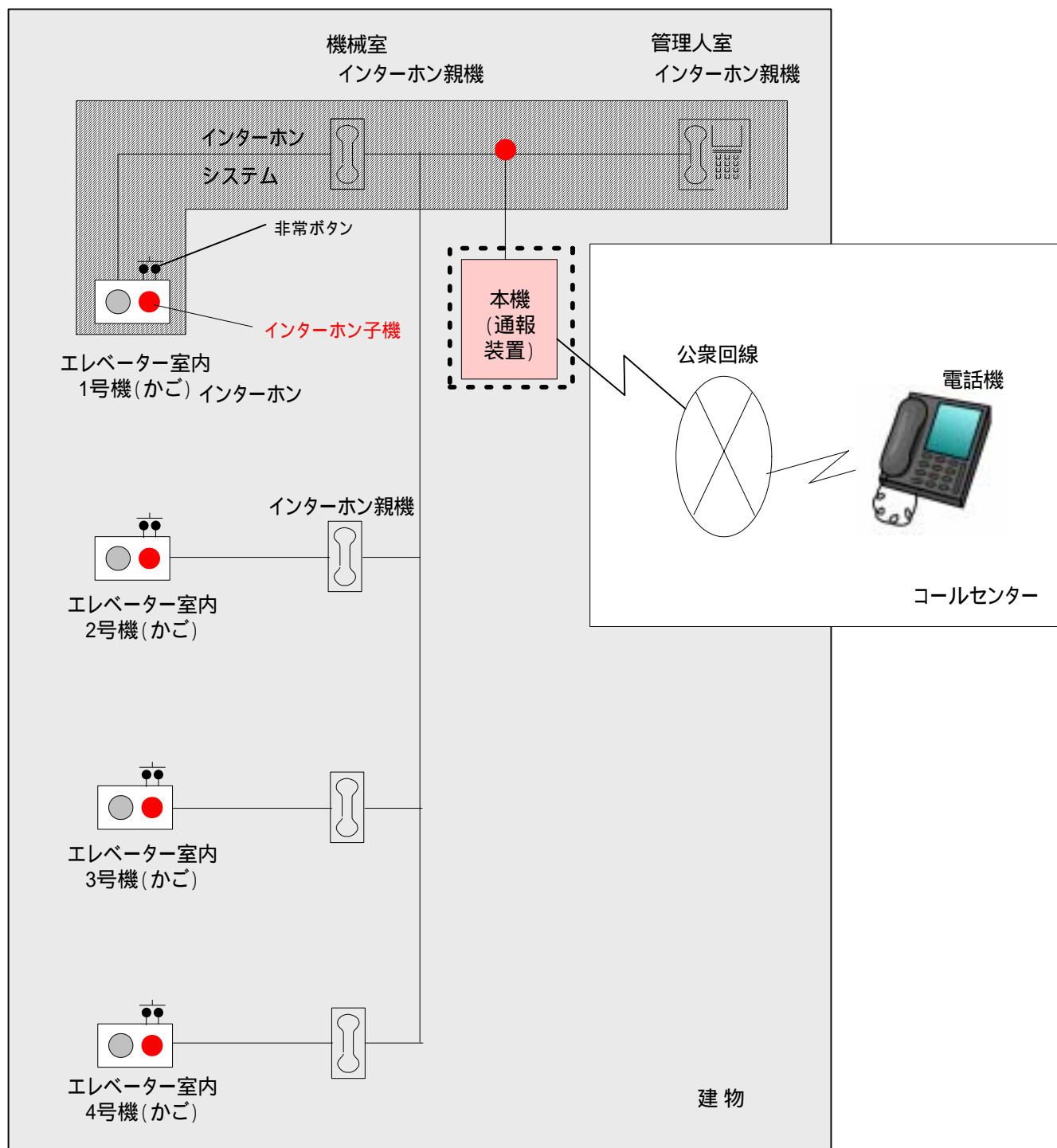
エレベーター設置時にはかご内及び外部(管理人室)との連絡装置(インターホン)システムは、法令で定められており、必ず設置されています。

そのインターホンシステムにTaro6を組み込む事で公衆回線を経由し遠方への連絡が可能になります。

設置・接続・設定は非常に簡単な作業ですので、短時間で取り付ける事が出来ます。

2.2 構成2 (4台のエレベーターに対してTaro6 1台)

下記に4台のエレベーターにインターホン多局が取り付けされている現場へのイメージ図を示します。



建物の中に複数エレベーターが設置している時には、多局タイプのインターホンが設置されています。
(現場によっては仕様が違う事もあります)。

多局インターホンでは、Taro6 1台に付きエレベーター最大4台のインターホンに対応しております
従いまして、公衆回線1回線で4台までの接続が可能です。

3. 機能

3.1 ハード機能

1) インターホン部

a. 下記に示す日本インターフォン社製インターホンに対応 (オール イン ワン)。

表3.1-1 対応するインターホン

製造メーカ	種類		親/子	型番	接続数	備 考
日本インターフォン	6V	単局	親機	E-01MV/E-01MV2	1	
			子機	E-01RV(C)	1	
		多局	親機	E-06MV(2)	1	
			子機	E-06RC(C)	1 ~ 4	
	24V	単局	親機	EZ-01MV(2)	1	
			子機	EZ-RV(C)	1	
		多局	親機	EZ-05(10)MV	1	
			子機	EZ-RV(C)	1 ~ 4	
アイホン	-	-	-	-	-	未対応
ナショナル	-	-	-	-	-	未対応

b. 接続するインターホンの種別指定は基板上のディップスイッチにて行う。

6V or 24V ; 単局 or 多局

c. 子機側マイク音量調整用ボリューム付

d. 子機側スピーカー音量調整用ボリューム付

2) 外部通信回線

a. PHSタイプもしくはModemタイプを使用する。

DT6B-P-*** PHSタイプ

DT6B-M-*** Modemタイプ

b. Modemタイプの場合のダイヤル種別

- プッシュ PB(TONE)

- ダイヤルパルス DP(10PPS ; 20PPS)

(構内交換機 (PBX) には対応していません。)

3) 電源

a. ACアダプター使用 (AC100V入力 / DC9V出力)

b. 停電保障用バッテリー付 (30分保障)

c. DC9V入力端子付き

4) LED

a. プログラム処理状態表示用LED × 4 (赤・黄・黄・赤)

・初期化中 ; 自己診断中 ; 運用中

・回線状態 (空き ; 発信 ; 着信)

b. PHS状態表示用LED × 2 (赤・緑 × 2)

・電波状態 (信号強度)

・回線状態 (空き ; 発信中 / 着信中 ; 通話中)

3.2 非常通報機能

3.2.1 動作概要

非常通報要因を検出した場合、自動的にコールセンターに接続します。

1) 非常ボタンの押下検出

- a. 非常ボタン検出時間(*1)で指定した時間非常ボタンの押下が連続すると非常ボタン押下検出とします。
- b. 6Vの場合、子機スピーカーに対してフィードバック用のブザー音を出力(6Vのみ)
 - 非常ボタンの押下中は、連続音を出力します
 - 非常ボタンを規定時間後に離すと、断続音を出力します
 - 非常ボタンを規定時間以内に離すと、無音に戻ります

2) かが内アナウンスの再生

- a. 非常ボタンの押下検出後、親機応答待ち時間(*2)を経過すると「かが内アナウンス」を再生します。
- b. 「かが内アナウンス」の再生と同時にコールセンターに発信します。

3) TarolD(*3)の通知

- a. コールセンターが応答すると、TarolD通知方法(*4)に従ってTarolDを通知します。
 - 通知しない
 - DTMF音で通知する
 - 音声で通知する
- b. TarolDが未登録の場合は、通知しません。
- c. TarolDの通知処理後、インターホンとコールセンター側電話機で通話が可能になります。

4) 通話

- a. 規定の通話時間(*5)になると本装置は自動的に電話回線を切断します。
- b. 警告時間(*6)になると本装置は自動切断警告を音で通知します。
- c. 別項で述べるDTMFコマンドを使用してパラメータの設定が可能。
- d. "#*"を入力することで「現場名アナウンス」を再生します。

5) 発信中止

- a. 以下の場合はコールセンターへの発信を行いません。
親機応答時の発信(*7)の設定内容が「親機が応答した場合は発信しない」でかつ
親機応答待ち時間以内に親機が応答した場合。

6) 連絡先番号の優先順位

- a. コールセンターへの発信を行った後に呼び出し応答が無い場合、予め登録されている連絡先登録番号第2から第5へ順次自動呼び出しを行います。それでも呼び出しに応じない場合は、発報動作を終了します。

7) 現場名アナウンス

- a. 現場名アナウンスが録音されている場合は、コールセンター接続後に自動/手動操作で再生します。

*1非常ボタン検出時間	標準 2 秒	設定ツール、DTMFコマンドで設定可能
*2音声発信待ち時間	標準 6 秒	設定ツール、DTMFコマンドで設定可能
*3TarolD	標準 - 未登録	設定ツール、DTMFコマンドで設定可能
*4TarolD通知方法	標準 - 音声通知	設定ツールで設定可能
*5通話時間	標準 4 分	通話延長操作する事で最大8分の通話が可能
*6切断予告通知時間	標準 10 秒前	設定ツールで設定可能
*7親機応答時の発信	標準 - 常に発信	設定ツール、DTMFコマンドで設定可能

3.2.2 発信制御

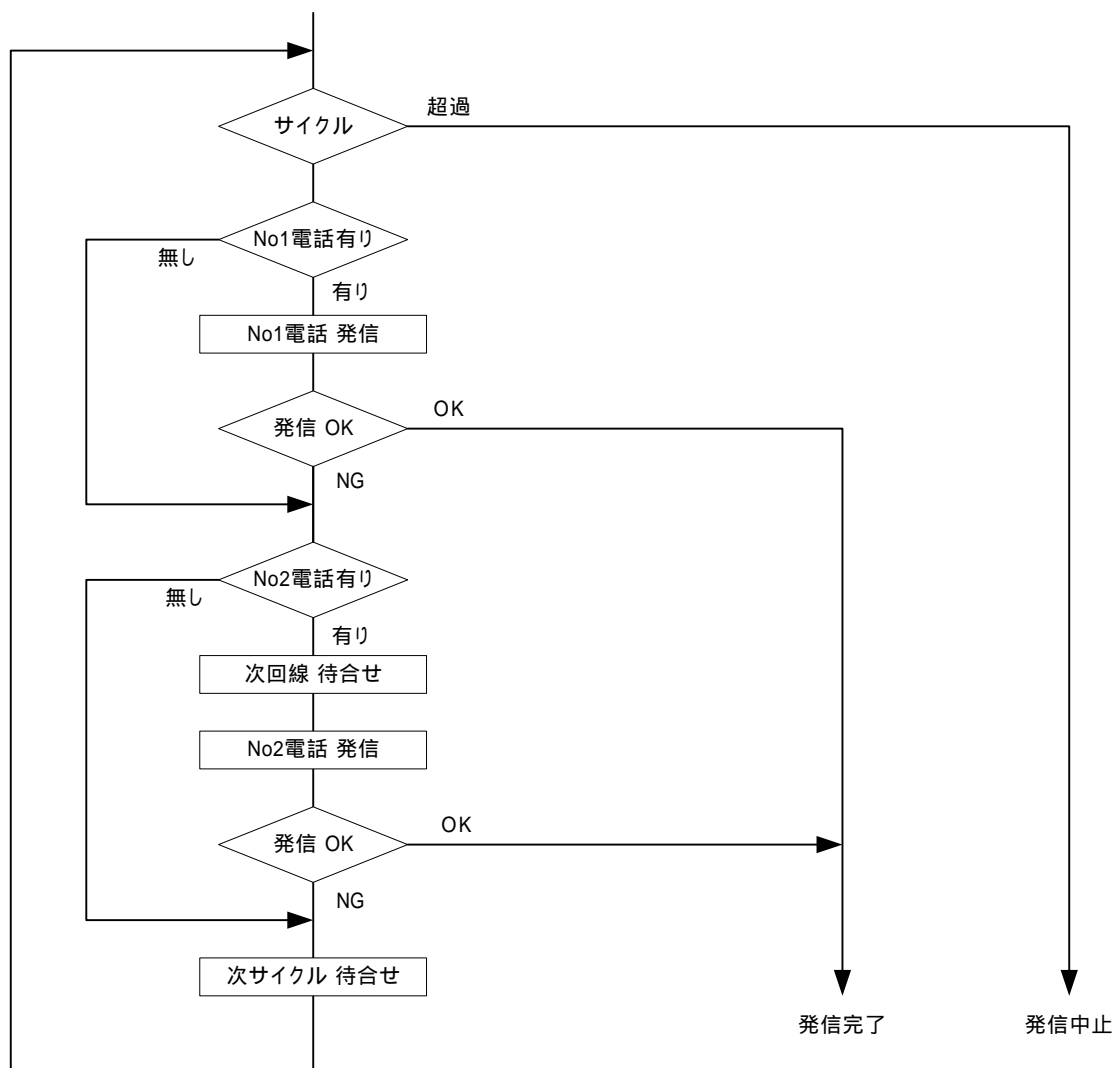
1) 複数箇所の発信先電話番号

- 最大5箇所のインターホン非常通話用発信先電話番号を登録可能です。
- 1箇所あたり20桁の電話番号を登録可能です。
- 電話番号には数字('0' - '9')と'#'が指定可能です。
- '#'は電話番号の桁間のポーズ時間(3秒)として処理します。

2) 発信の再試行

- ダイヤル後、以下の状態の場合は再試行を行います。
 - 話中(回線ビジー、相手使用中)
 - 規定の応答待ち時間(*1)以内にコールセンターが応答しない
- 登録されている複数の電話番号のすべてに対して発信することをサイクルと呼びます。
- 再試行は規定サイクル(*2)で指定された回数行い、それでもダメな場合は中止します。
- 電話番号間は次回線待ち時間(*3)で指定された待ち合わせをします。
- サイクル間は次サイクル待ち時間(*4)で指定された待ち合わせをします。

- *1 応答待ち時間 標準 25 秒
 *2 規定サイクル 標準 3 サイクル
 *3 次回線待ち時間 標準 30 秒
 *4 次サイクル待ち時間 標準 30 秒



(発信先電話番号 が設定されている場合)

3.2.3 インターホン子機スピーカー制御

1) 特定機種(エレベーター制御装置)における"親機応答"認識について

- a. インターホンシステム装置は親機の応答で子機スピーカーのON制御を行っています。
- b. 特定エレベーター制御装置は子機スピーカーのON信号で"親機応答"認識を行っています。
- c. 本装置は子機スピーカーに音を出力する為に、子機スピーカーのON制御を行っています。
- d. 特定機種に本装置を接続するとブザーのフィードバック時点で"親機応答"認識をしてしまいます。

2) 対処方法

- a. 本装置はパラメータにより子機スピーカーのON制御タイミングを指定可能です。

Type0:ブザーOFF、アナウンスON

親機の応答待ち時間後に子機スピーカーをONします。

Type1:ブザーON、アナウンスON

非常ボタンを押された時点で子機スピーカーをONします。

出荷時の設定

Type3:ブザーOFF、アナウンスOFF(ダイヤル完了)

ダイヤルを完了した時点で子機スピーカーをONします。

Type4:ブザーOFF、アナウンスOFF(相手応答)

相手が応答した時点で子機スピーカーをONします。

3.2.4 インターホンの子機選択 (6V・24V・単局・多局共に操作下さい。)

1) 子機選択

- a. "#n"(n=1-4)を電話機より入力することで子機の切り替えができます。
 - #1 1号機と通話
 - #2 2号機と通話
 - #3 3号機と通話
 - #4 4号機と通話
- b. "#0n"(n=1-4)を電話機より入力することで子機を追加ができます(会議)。
 - #01 他号機との通話に1号機を追加する
 - #02 他号機との通話に2号機を追加する
 - #03 他号機との通話に3号機を追加する
 - #04 他号機との通話に4号機を追加する
- c. "#9"を電話機より入力すること選択中の子機を解除できます。

3.3 着信制御

1) 自動応答

- a. 応答RING回数(*1)の指定された回数で本装置は応答をします。

2) 応答方式

- a. 本装置はパラメータにより外部からの着信時の応答方式を指定可能です。

Type0: 音声モードで応答

Type1: 自動判別モードで応答

Type2: データモードで応答

Type3: 応答しない

- b. 出荷時の設定は"Type1: 自動判別モードで応答"です。

3) インターホン子機への接続方法

- a. 設定ツールのパラメータ設定によって外部からの着信時のかご内子機インターホン接続方法を指定できます。

子機への接続方法 0: 自動 : 自動的に1号機を選局する。

1: 手動 : 電話機より子機選択コマンドを入力する必要があります。

3.2.4 インターホンの子機を選択

2: 半自動 : 接続遅延時間後(*2)に1号機を選局する。

*1 応答RING回数

標準 4回

設定ツールで設定可能

*2 接続遅延時間

標準 10秒

設定ツールで設定可能

3.4 DTMFコマンド

コールセンター側電話機よりDTMF信号を使用して本装置の設定及び操作を行うことができます。

3.4.1 設定コマンド

1) ログイン(##0)

- a. 遠隔操作設定に先立って本装置にログインする為のコマンドです。

2) 音声発信先電話番号登録(##1、##2)

- a. 電話番号 を登録するコマンドです。

3) 音声発信先電話番号登録(**303、**304、**305)

- a. 電話番号 を登録するコマンドです。

4) Taroid登録(##5)

- a. Taroidを登録するコマンドです。

【Taroidとは】

- 設置者が本装置に対して任意に付与できる固有番号(識別番号)です。
- Taroidは非常通話時にコールセンター側電話機に自動的に固有番号を音声で通知します。
- Taroid通知方式がDTMFTone設定の場合は、設置者が本番号に対応した現場名情報をパソコン等で管理されている場合のみ、本番号から現場名を特定することが出来ます。
- 本装置では”現場名アナウンス”機能を使用して現場を特定することもできます。

5) 音声発信待ち時間(親機応答待ち時間)設定(##6)

- a. 親機応答待ち時間(秒)を設定するコマンドです。

6) Taroモード設定(##7)

- a. Taroモードを設定するコマンドです。
- b. 以下に示す設定項目があります。
 - ダイヤル種別(PB ; 10PPS ; 20PPS) PHS(DT6B-P-***)タイプでは無効です
 - 親機応答時の発信
 - 着信時の応答方式
 - 子機スピーカー制御方式

7) かが内アナウンス録音(##8)

- a. かが内アナウンスを任意に録音するコマンドです。工場出荷時は「只今センターに接続中です。暫くお待ち下さい。」と録音されています。

8) 現場名アナウンス録音(##9) 例:「新横浜ビルからの発報」

- a. 現場名アナウンスを録音するコマンドです。工場出荷時は、無音です。

3.4.2 操作コマンド

1) 現場名アナウンス再生指示(##*)

- a. 現場名アナウンスの再生を指示するコマンドです。

2) 子機選択(#1、#2、#3、#4、#01、#02、#03、#04、(#9解除))

- a. 子機の選択を指示するコマンドです。

3.5 機能表

Taro6 装置の各機能表を示します。

機能表(1/1)

区分	No.	内容	Taro6 (DT6B・・・)	Taro6 (DT6・・・)
非常 通話 機能 (e V o i c e)	1	非常通話装置 機能		
	2	話中もしくは接続不可時、自動転送機能		
	3	Taro_ID自動音声アナウンス機能		
	4	インターホン親機応答時、発報停止機能		
	5	ダイヤルシーケンス機能		
	6	自動ダイヤルシーケンス機能		
	7	通話時間経過警告音(音声通話時間が経過する時の警告音)		
	8	リモートパラメータ設定機能		
	9	##0 ログイン・パスワード機能		
	10	##1・2 非常通話 発報先電話登録機能1~2		
	11	##5 Taro_ID 登録機能		
	12	##6 非常ボタン感知後発報遅延時間設定機能		
	13	##7 モード設定機能		
	14	##8 かごアナウンス録音機能		
	15	##9 現場名アナウンス録音機能		
	16	**30n 非常通話・発報先電話登録機能3~5 n=3~5		×
	17	**320nn 非常ボタン押し下げ検知時間の設定		×
	18	**371n 発報優先順位設定 n=0データ優先, 1直話のみ, 2直話優先		×
	19	**372n 現場名通知種別レベル 再生設定 n=0~3		×
	20	**381n かごアナウンス切替え設定 n=0(標準), n=1(1-ザ-)		×
	21	**830n 非常通話 発報先電話番号を音声再生 n=3~7		×
	22	**838n かごアナウンス設定内容をアナウンスにてお知らせ		×
	23	**901 通話時間延長機能 (コマンド入力時4分延長,1回のみ)		×
	24	**800n ##1~##9設定内容を音声再生 n=1~9		×
	25	**3800 かごアナウンス消去時呼び出し機能		×
	26	**8320 非常ボタン押し下げ検知時間を音声アナウンスでお知らせ		×
	27	**8371 発報優先順位を音声アナウンスでお知らせ		×
	28	**8372 現場名通知種別を音声アナウンス		×
	29	コールセンター呼び出し時、号機音声アナウンス選択(1~99号機)		×

4. 製品形態

1) 出荷時の内容

- a. 本装置本体
- b. 付属品 (型番により異なります)
 - ・ACアダプター (含むバッテリー)
 - ・アンテナ (内部型 or 外部型)

表4.1-1 型番毎の出荷内容

回線種別	型番	通信モジュール	電源モジュール	備 考
PHS回線	DT6B-P-AB*	PHS + 外部アンテナ	ACアダプタ(含むバッテリー)	
	DT6B-P-NB*	PHS + 内部アンテナ	ACアダプタ(含むバッテリー)	
NTT回線	DT6B-M-NB*	Modem	ACアダプタ(含むバッテリー)	

2) ケース

- a. ケースに内蔵される物 (型番により異なります)

基板

PHSユニット(基板上に実装)

PHS用内部アンテナ (付属品の小袋)

バッテリー (基板側面に実装)

- b. 寸法

245mm (L) × 194mm (D) × 60mm (H) (取り付け部含まず)

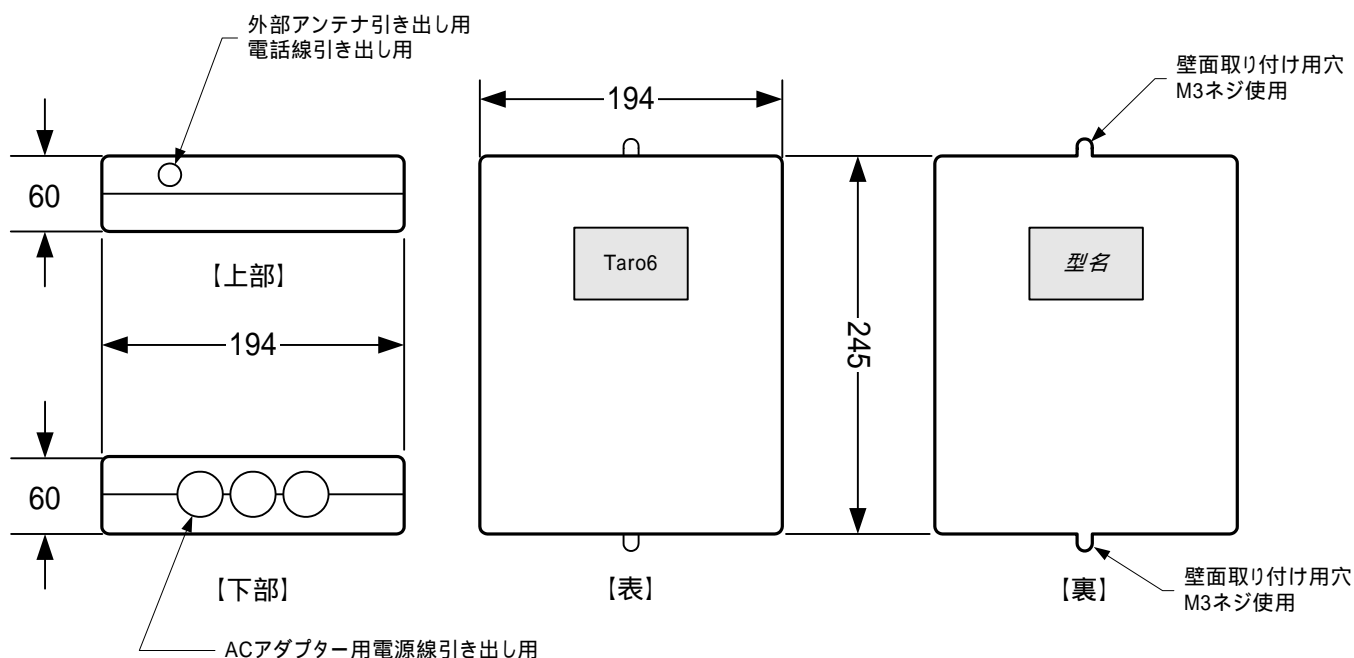


図4.2-1 ケース

3) オプション品

- a. 設定ツール接続用ケーブル
- b. パラメータ設定用ソフトウェア (CD-ROM)
- c. PHS中継ケーブル (7 m)
- d. 交換用バッテリー
- e. PHS外部アンテナ (3 m)

5 . 技術情報

5 . 1 装置仕様

1) 動作環境仕様

表5.1.1-1 動作環境仕様

項目	仕様	
動作温度	0 ~ +45	
保存温度	-20 ~ +60 (梱包状態で)	
動作湿度	30 ~ 80%	
保存湿度	5 ~ 95% 結露なきこと (保存は保管梱包状態であること)	
温度上昇	+15 以下であること、ただし放熱器などは除く	
周囲雰囲気	腐食ガスがないこと、一般事務所程度	
漏洩電流	3.5mA以下	
絶縁抵抗	DC 500Vの試験電圧により3M 以上の絶縁抵抗であること。	
絶縁耐力	AC 1000Vの試験電圧により1分間耐えること。 または、AC 1200V試験電圧により1秒間耐えること。	
電圧変動	定格電圧 ± 10%で誤動作しないこと。	*1
始動電圧	定格電圧の85%、115%での電源投入動作が正常に行なえること。	
瞬断	90% 0% 90%の瞬断で1サイクル継続しても正常に動作すること。	
突入電流	コールドスタートおよび、ホットスタート 42A以下、持続時間0.5秒以下	

*1 ACアダプターを使用した場合(DT6B-**-B*)

2) 一般仕様

表5.1.2-1 一般仕様

項目	項目	仕様	
電源	DC電源	DC9V ± 0.5V、MAX600mA	*1
	AC電源	AC100V ± 10% 100VA	
電池	種類	ニッケル水素電池 7.2V 1300mAh	*2
	充電方式	トリクル充電	
	停電補償時間	30分以上	
	交換時期	2-3年	
耐振動		JIS C 0911準拠	
耐衝撃		JIS C 0912準拠	
発生塵埃		なきこと	
外形		245 (L) × 195 (D) × 60 (H) 突起物はふくまない	
重量		約 2 kg	

*1 客先DC9Vを使用した場合

*2 ACアダプターを使用した場合(DT6B-**-B*)

3) 通信仕様

表5.1.3-1 通信仕様

通信モジュール	項目	仕様
NCU (Modem機能)	適用回線	NTT公衆回線
	接続コネクタ	RJ 11 (モジュラー6極2芯)
	選択信号	DP (10PPS/20PPS) PB
	直流抵抗	334
	網制御機能	自動 (AA)
	自動発信・リダイヤル機能	有り
Modem	通信方式	V22bis準拠
	同期方式	非同期
	変調方式	QAM(2400bps)
	通信速度	2400bps
	送信レベル	-9dbm
	受信レベル	-9dBm ~ -43dBm
	不感動受信レベル	-45dBm
	技術基準適合番号	A08-0133004
PHS (PAU-702)	周波数帯	1884.65MHz ~ 1919.45MHz
	通信方式	時分割多元接続方式を使用する時分割複信方式
	伝送速度	384kbit/s
	技術基準適合番号	A06-0213001, 001JXAA1138

6. 特記事項

1) Modemタイプ (DT6B-M-***)

本装置の直流回路の抵抗値は334 です。

線路抵抗条件によってはご使用できませんのでご注意ください。

2) 特殊インターホンタイプの接続について

下記インターホンの接続については、「T001363J Taro6 取り扱い説明書-取付け編」を参照して下さい。

- 日本インターフォン社製 6V多局 OEM(EHSタイプ) インターホンシステム
- 日本インターフォン社製 6V多局 OEM(RGタイプ) インターホンシステム

7. 関連資料

T001 187J NLE製品 取り扱い説明書-安全のしおり

T001 363J Taro6 取り扱い説明書-取付け編

T001 369J Taro6 取り扱い説明書-設定ツール編

T001 373J Taro6 取り扱い説明書-製品概要編 (本資料)



『Taro6(DT6B- x - x x x)』取扱説明書-概要編

平成23年2月 初版

発行:株式会社 日本リフツエンジニアリング
カスタマーサービス

横浜市港北区新横浜1 - 3 - 1 新横浜アーバンスクエア

email : info@nle-jpn.co.jp